

# ANNUAL REPORT 2023

Teach For Japan 2023年度 年次報告書

TEACH FOR JAPAN ANNUAL REPORT 2023



教室から  
世界を変える

ご寄付に関してはこちら

<https://teachforjapan.org/donation/>



Instagram、Facebook、X、Youtube

メルマガ登録はこちらから







すべての子どもが、  
素晴らしい教育を  
受けることができる世界の実現

## 代表メッセージ

日頃より、Teach For Japanの活動をご支援いただき誠にありがとうございます。2023年度は83名のフェローが21都府県56市区町村で活動し、約7000の児童生徒に教育の機会を届けることができました。フェローシップ・プログラムへの応募者数は過去最大の716名となり、昨今の教員不足に反して、本プログラムへの参加希望者は増加しており、2024年度に現場で活動するフェローの数や、赴任する自治体の数は更に拡大する見込みです。自治体との連携も強化されてきたことで、昨年は関わる児童生徒へのアセスメントと、フェローの資質・能力に関する分析に力を入れ始めることができました。教員の質の定義や、その資質・能力をいかに育み、見極めるのかについては、国や各教育委員会、教員養成大学でも議論がなされました。しかし、その議論がどこか机上の空論に

なってしまう一つの要因は、学校現場で得られる子どもたちの情報を、教員養成課程、教員採用試験、教員研修へフィードバックする仕組みをつくっていないことです。教員養成大学は、教員免許の取得や教員採用試験に関わる数字は把握していますが、自学を卒業して教員になった方が関わる子どもの学力テスト等の現状を、毎年把握する仕組みは構築できていません。一方我々は、フェローの現状とその教室の子どもたちの現状を把握して質の高い教員の定義を検討でき、その資質・能力を育成するための研修、見極める選考の企画など、子どもとフェローの現状をプログラム改善に活かす仕組みをつくっています。この強みから得られるノウハウを大学や自治体にも還元し、多様な人材・社会人が学校教育に参画し協働できる流動性の高い教員組織を構築し、教員不足等の解消だけ

でなく、学校教育の質と多様性、包摂性を高め、すべての子どもの学習権を保证する公教育の実現を目指します。ここ数年、日本の教育に関する課題が大きく取り上げられている一方で、公教育と関わる機会に参加する企業数も増加しており、社会全体の教育への当事者意識の高まりも感じています。この高まりをバラバラな動きとするのではなく、社会全体での包括的なアプローチとして恒久化していく必要があります。Teach For Japanは目指すビジョンに関係する多くのステークホルダーと対話を続け、「自分も変わるべきシステムの一部なのだ」と想いを共にしてもらい、それぞれが自己変革することで、社会変革に発展するよう導く存在として取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



Teach For Japan 代表理事

### 中原 健聡

フェロー第3期生。修了後は、札幌新陽高校で学校経営・開発に携わり、2019年よりTeach For JapanのCEOに就任。公教育の改革、教育格差の解消に向けて、社会課題の解決に挑戦している。

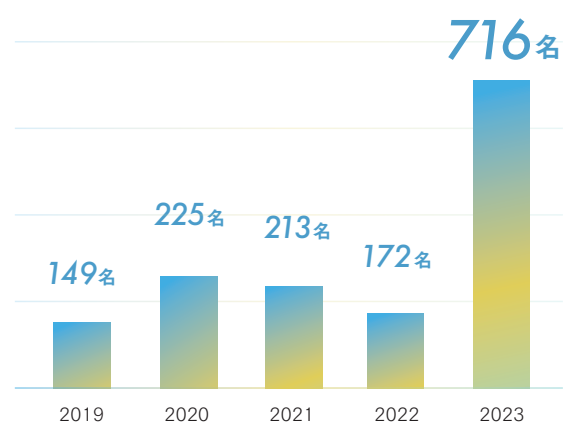


# 2023 FELLOWSHIP PROGRAM NEWS

## NEWS 01

### 応募者数4倍！

第12期フェローシップ・プログラムの募集では、説明会や個別面談など既存の取り組みのみならず、求人媒体への掲載など新たなチャレンジも積極的に行いました。結果として、予想を大きく上回るご応募をいただくことができました。特筆すべきは、教育への思いがある幅広い世代からのご応募があったことです。これは、フェローシップ・プログラムが幅広い世代に認知され、信頼されていると共に、教育に対する多くの方の関心の高まりにもつながっていると考えております。



## NEWS 02

### 新たに5自治体と連携

2023年度は、茨城県、神奈川県相模原市、山口県美祢市、福岡県朝倉市、福岡県東峰村の5つの教育委員会との新たな連携を築きました。これにより、これまでフェローが赴任した自治体は、26都府県、87市区町村に拡大しました。新規自治体に赴任したフェローの学校長からは、「令和の日本型学校教育についてとてもよく学んでおり、積極的に新しい学び方を実践できている」「多くの教材研究をこなしながら、日々、創意工夫のある授業づくりに努めている」など、ご評価いただいております。これからもビジョン実現に向けて、自治体の皆様と協働していきます。



美祢市教育委員会  
学校教育課 課長  
中島 幹晃様

TFJとの連携により、今年度2名のフェローを市内の小中学校に配置することができました。現場の反応は上々で、2人の先生が生き生きと児童生徒への指導に当たっている様子や、意欲的に研修に取り組んでいる様子が見られています。これも、TFJの研修システムやご本人達の意識の高さのおかげと考えています。美祢市教育委員会ではさらに学校の魅力化を図っていくためにも、TFJとの連携を進めていきたいと考えています。

## NEWS 03

### 加賀市での研究発表

包括連携協定を結んでいる加賀市で開催された「KAGA Education PLAYER's Day」にて、研究発表を行いました。本研究では、子どもたちと教師の「主体的に学習に取り組む態度」に関する研究を行い、それぞれのメタ認知と協働についての関係が明らかになりました。成果を元に、プログラムの改善へと繋げていきます。



## NEWS 04

### アラムナイ就任式・壮行会

2024年3月、10期生、11期生、12期生でアラムナイ就任式・壮行会を行いました。期を越えて約100名が一堂に会し、各期の代表者による全体発表と参加者同士の対話の時間を設け、それぞれが自身の学びや変化を振り返り、気持ちを高め合う大切な時間となりました。



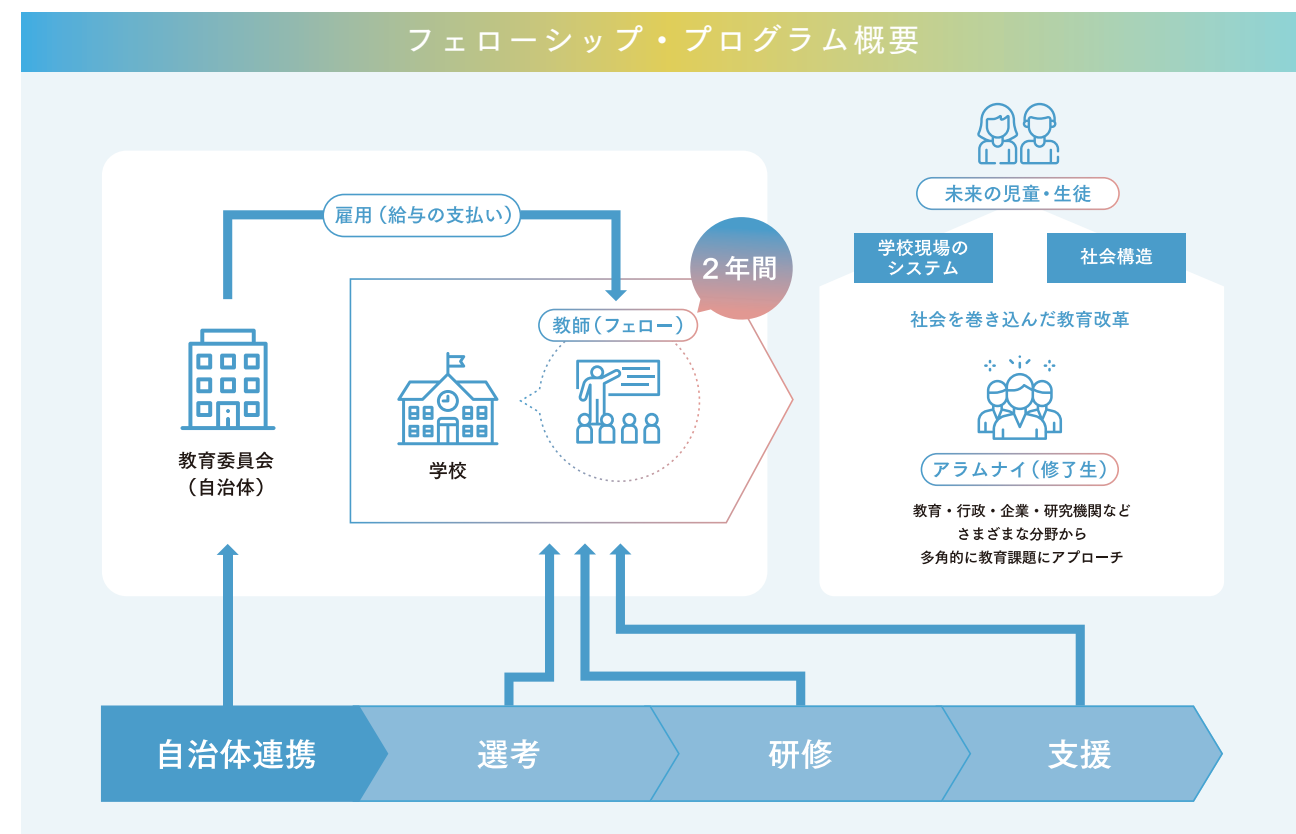
## NEWS 05

### グッドデザイン賞受賞 & エクセレント NPO 大賞ノミネート！

2023年度は、エクセレント NPO 大賞にノミネートされました。さらに、フェローシップ・プログラムが、2023 年度グッドデザイン賞を受賞しました。グッドデザイン賞では、子供たちの可能性を引き出すプログラムとして、この取り組みは日本の新たな教育の姿につながる可能性もある。として高く評価いただきました。

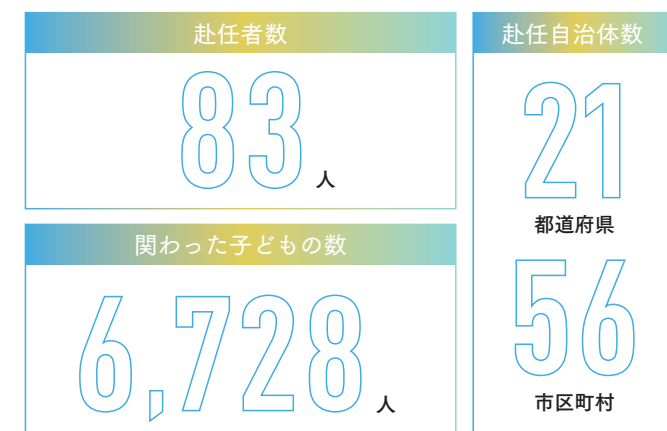


GOOD DESIGN



### フェローシップ・プログラムとは？

フェローシップ・プログラムは、教育をより良くしたいと考える多様な人材を選考し、資質・能力を研修を通して育み、学校現場に教師（フェロー）として2年間送り出す取り組みです。現在も数多くのフェローが日本全国それぞれの学校へ赴任し、子どもたちの可能性を最大限発揮できるよう活動しています。



## 教師に共通的に求められる資質能力の具体的内容

### 教職に必要な要素

- ・「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を理解するとともに、国内外の変化に合わせて常に学び続けようとしている。
- ・豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供達、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築することができる。など

### 学習指導

- ・関係法令、学習指導要領及び子供の心身の発達や学習過程に関する理解に基づき、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、学習者中心の授業を創造することができる。など

### 生徒指導

- ・生徒指導の意義や原理を理解し、他の教職員や関係機関等と連携しつつ、個に応じた指導や集団指導を実践することができる。など

### 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応

- ・特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。

### ICTや情報・教育データの活用

- ・学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、児童生徒等の情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための授業実践等を行うことができる。など

出典：文部科学省 | 教師に共通的に求められる資質能力の具体的内容



フェロシップ・プログラムの研修設計では、文部科学省の指針・ガイドラインを踏まえた上で、学習科学や脳神経科学等に基づく「理論」と現場実習や模擬授業等による「実践」の往還を繰り返し、子どもの学びをデザインする教師の資質・能力の養成を重視しています。加えて、教師自身の学びの転換を進めるため、一方的に講義を行う知識伝達型の研修ではなく、自らが主体的・対話的で深い学びを体現する場となることを意図しています。これらは、OECD（経済協力開発機構）が掲げる「ラーニング・コンパス2030」の考え方を基盤にしています。「ラーニング・コンパス2030」は、教育の望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組みです。子どもが教師の決まりきった指導をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境を自力で歩み、進んでいく必要性から「コンパス」という比喩が用いられています。子どもたちが2030年以降も活躍するために必要なコンピテンシーに関する幅広いビジョンが提供されており、フェロシップ・プログラムにおいてもその実現を目指しています。

## 候補生の声

### Q 研修を通して成長したこと

私にとって赴任前の研修期間は「自分は何のために教師になるのか」「教育に関わるものとしてどのような価値を生み出し、社会に貢献するのか」という問いに向き合い続ける時間だった。その中で、同期との対話や直接子供たちに関わる機会を通して、教育に対する考え方や自分の成長に関する価値観が大きく変容した。"教師の学びの姿は子どもたちの学びの相似形である"という言葉がある。これからも自分らしく学び続け、目指す教師像・育みたい子ども像・目指したい社会の実現に向けてチャレンジしていきたい。

佐古卓也さん



現在の職業  
教育系企業

私は、研修を通して学習者中心の考え方について体感しながら理解を深めることができました。具体的には、対話を通じて、様々な方の意見・視点に触れ、一人では気が付かない点について学んだり、自分が質問を受けた時に、「わかっていつもり」であったことも改めて考え、理解を深めたりする経験を積み重ねていきました。これは、研修自体が学習者を中心にした設計になっていたからだと感じています。フェローとして赴任後は、生徒を中心にして生徒同士で学び合える環境を自分が作り出せるよう尽力していきたいです。

小林閑さん



現在の職業  
語学系大学

### Q 教師としてのありたい姿

私は、大人にも子どもにも無限の可能性があると思っています。だからこそ、共に学び合う時間の中で、その可能性が一杯に発揮される未来を無条件に信じながら、子ども達の目が輝く瞬間を大切にできる教師でありたいと考えています。また、小学校での現場実習時に「吉野先生！」と大声で私を呼びながら駆け寄り、ギュッと抱き寄せてくれた低学年の児童のあの時のぬくもりを、私は心底大切にしたいと思いました。その想いを胸に、子ども達が「社会で生きるために活かせる力」を育むことも意識して参ります。

吉野明世さん



現在の職業  
個人事業主

私は、高校で出会った先生に憧れて先生になりましたが、力不足を感じる日々でした。「もっと勉強したい」と思っていたときにTFJに出会い、学習者中心の授業や学校組織マネジメントを学び、「より良い授業とは」「生徒のためにできることはなにか」「学校ではたせる役割は何か」と考えるようになりました。今は多様な先生が集まる学校で、協働の重要性を感じ、率先して協働体制をつくれるように取り組んでいます。TFJコミュニティを通して、色々な人と出会い、たくさん学び、チャレンジする2年間にしたいです。

関口真司さん



現在の職業  
私立高校教員





すべてのひとが自然と文化を  
自分をそして人を愛する世界を目指して

実際、教育現場に立つと、「こどもは大人や社会の鏡」と言われるように、様々なものを背負ったこどもたちが学校に通っていることを改めて思い知らされます。しかしながら人類が誕生してから受け継がれた生命の誕生は奇跡であり、どんな時代でも、すべてのこどもたちに自分の人生を「自分なりのしあわせのモノサシ」で選んでほしいと願い、次のような授業デザインの工夫改善に挑戦しています。生まれ育った環境で身についた経験則や脳の仕組みも、徐々にしか変わらないことから、まずは、こどもたちが生まれながらにして自ら学ぶ資質・能力をもっていることを信じ、こどもたちに寄り添い、こどもたちの挑戦に魔法の言葉good try! と声かけするなど心理的安心・安全な関係づくりに努めています。そして、義務教育における制限はありますが、「学習活動・場所」「表現・記録方法」「教材・実験」「問題数」「先生役」など探究サイクルでこどものやる気のスイッチが入りやすい「選ぶ」機会をできるだけ授業デザインするようにしています。これらは、インクルーシブ教育とも親和性が高いものと思います。その他に、教育心理学上、一定程度の知識がないと学びは促進されないことから、地域や家庭環境などに

る体験学習や情報の格差が少しでも解消されるようSociety5.0を見据え、最新テクノロジーによる社会問題解決事例を紹介したりしています。こどもたちからは、「分からない時は笑顔でやさしく教えてくれる」「わかりやすく、前は理科が嫌いだったけれど好きになりました」といった声をもらいました。学期末に実施したアンケートによる「理科の好き嫌いの変化」では、「どちらでもないが好きになった(29.4%)」、「嫌いがどちらでもないになった(13.7%)」、「嫌いが好きになった(2.0%)」を合わせると、おおよそ2人に1人が改善、残りは変化なしで、改善はゼロという結果となりました。さらには、こどもたちから「先生から聞くあたらしい世界のことやロボットのことを聞くのが好きでした」「これからの社会のこと、AIのことなどをたくさん学ぶことができた」「教科書のことだけでなく、様々なことを教えてもらえた」「人生について学ぶことができた」などの声をもらうことができたのは、教師冥利に尽きると思います。このような授業デザインの工夫改善が実践できるのも、学習科学や脳神経科学等の科学的知見を土台としたフェローシップ・プログラムでの学びや、年齢を問わず多様



小野 正さん  
第11期生 小学校

なフェローの仲間との対話、公教育現場で既にこどものために奮闘されている教職員のサポートのお陰であることに加え、これまでのたくさんの失敗を含めた50代ならではのキャリア、経験がとても役に立っていると感じています。実は、私も、これまで人知れず「親や世間のモノサシ」で生きてきたことに気づかされ、家族の温かい理解もあり、大企業を早期退職し、「自分なりのしあわせのモノサシ」で後半の人生を歩み始めました。そして、Teach For Japan と出会い、Teach For Japan のビジョンに共感する仲間と一緒に、未来をつくるこどもたちのために教育現場の問題解決に挑戦しています。社会に開かれた教育が叫ばれる昨今、多様なキャリアをもった大人がフェローシップ・プログラムに参画することは、こどもたちにとっても、教育現場の変革にとっても大変意義深いものと考えています。何より私自身が、新しい仲間やこどもたちと出会い、対話しながら、学び合い、自分を変容、成長し続けられていることが楽しく、well-being な毎日を送っています。

一人ひとりの良さを繋ぎ合わせ、  
現場から未来を創る。

私は、「一人ひとりの良さを繋ぎ合わせる」とができる環境・社会をつくる」ことをビジョンに掲げています。以前はコンサルティング企業という立場からビジョンの実現を目指していましたが、未来を創るのは学校現場からだと感じ、教員として働くことにしました。私が学校現場を見て驚いたことは、教員の「個の力」と「チームの力」の強さです。一人ひとりが独立して自分の強み・想い・興味関心を軸に教育活動に取り組みながら、行事や生徒対応など必要な時はチームワークを発揮しています。一方で、「チームとして共通のゴールを立て、ゴールから逆算して具体施策を進め、成果を検証する」ということをもっと意識すれば、さらに良い活動につながるのではないかと思う場面もありました。個々の良さが光り、チーム力も既に備わっている職場に、みんなが目指せる「共通のゴール」が存在していたらどんな素晴らしい職場になるのだろう？さらにその先には、どんな素敵な子どもが育つのだろう？ワクワクする気持ちと共に、この問いにチャレンジしてみることになりました。チャレンジを進める上で最初の壁は、「同じ思いを持つ仲間と繋がる」ことでした。まずはキーパーソンとなる学校研究主任にアプローチをかけ、今回の

チャレンジに取り組むことで得られるメリットや世界観を繰り返し伝えました。時には意見の食い違いからプチ喧嘩することもありましたが、時間をかけてお互いの意見を共有し合うことで、少しずつ前向きな意識が醸成されていきました。話し合いを重ねていく中で、学校研究主任と私は、「『子ども』を主語に人々の思いを繋ぎ合わせることが、このチャレンジのカギになる」と考えるようになりました。そこでまずは、学校教育目標を起点に「卒業時にどんな生徒に育ってほしいか」を教員同士で語り合うワークショップを開催することにしました。教育現場の最前線に立つ教員たちが意見を共有し合うことで力強い言葉が紡ぎ出され、最終的には共通ゴールとして、「生徒のめざす姿(以下、『めざす姿』)」が創り上げられました。現在は、この「めざす姿」を軸とした教育活動を広げるための取り組みを進めています。今年度(令和5年度)は、教員自身の「自分ごと化」を目指して、学校内の教員に「めざす姿」の意義や内容を浸透させることに注力しました。ワークショップ形式の対話を重ねることで、年度終わりの対話では、教員から「『めざす姿』に該当する授業は何があるか、自分を振り返り改善に繋げるようになった」「質

質能力で授業を考えるようになった」「学校として教育活動を進めていく意義を感じた」などの言葉を聞くことができました。来年度は、「めざす姿」を教育の実践に落とし込むことをテーマに取り組みを進めます。あえて実践内容に制限は設けず、教員一人ひとりの良さを生かしながら「めざす姿」に向かって実践を広げられる環境づくりに重点を置きます。再来年度には、今年度から少しずつ取り組みを進めている「地域への『めざす姿』の浸透」を実現し、地域と一緒に子どもを育てる環境をつくります。このチャレンジを通じて、自分自身も、自分の良さを他の人の良さと繋げることができていると感じています。前職で培った「組織全体を見て必要な策を考え、実行に移す」スキルを活かしつつ、周りの人たちとアイデアを掛け合わせることがとても楽しく、ワクワクが止まりません。また、このチャレンジに取り組む上で、Teach For Japan の研修やコミュニティを通じて得た「教員としての自信」と、「チャレンジを応援し合える仲間」の存在が大きく背中を押してくれています。これからも「一人ひとりの良さを繋ぎ合わせることができる環境・社会をつくる」というビジョンに向けて、教育業界に携わっていきます。







T.Cさん

最初に話したときは優しくて声をかけやすかったです。私と先生は、好きなことが同じなのでとても会話がはずみます。よく子ども目線で話してくれるので人見知りの私でもしゃべりやすかったです。



K.Oさん

先生からは「リーダーシップ」を学びました。常にまわりを見て、何をしたらいいのかを考えるとすれば「みんながこうなると考えること」が大切と学びました。これは「社会」に対しても同じだと思います。なので今後の人生にも生かしたいと思いました。

授業では、学習に取り組むきっかけを作り、学ぶ力を引き出すことを意識しています。例えば、自分の経験を交えて、興味を持ってもらったり、集中が続かない子にはその子のできるタイミングを見極めて声をかけたりしていました。また、自分と一緒に学ぶ・楽しむということも意識していました。



第11期生 中学校  
益子 玲生奈さん

生徒との「対話的な関わり」を目指し、日々試行錯誤しています。思春期は、しばしば自分で自分のことが分からなくなることがある時期だと思います。生徒自身が自分との対話の仕方を身に付け、変化する自分自身と向き合えるようになること。自らとの付き合い方を見出し、その先に自分と異なる他者との付き合い方を身につけることを支援したいと思っています。



第11期生 中学校  
佐藤 公彦さん



M.Aさん

はるか先生という、とても楽しいです。ひまな時間はありません。はるか先生にたくさんのお話を教えてもらい、せい長はした。これからもはるか先生とせい長していきたいです。



S.Eさん

教科書にない知識を丁寧に教えてくれる山崎先生のおかげで、家庭力、こうもが何倍も向上しました。勉強はあまりできないけど、それ以外の部分を磨いていきたいと思わせてくれてありがとうございます。

「対話」をテーマに子どもたちと関わってきました。じっくりと対話を重ねると、どんな子どもの中にも輝きと可能性を発見することができます。子どもたちが自分の可能性を信じ、いきいきと学んでいけるような場をつくっていききたいと思っています。



第9期生 小学校  
小野 晴香さん

教室の中で完結させるのではなく、地域・社会・世界とのつながりを感じ、実践や話し合い、自ら探求することを通して「生活を豊かにすること」を目指して授業を行いました。一人ひとり生き方は異なります。自分の理想とする生き方を見つけて、豊かな生活を手に入れてくれることを願っています。



第11期生 高校  
山崎 航さん

教育長



加賀市教育委員会  
教育長  
島谷 千春さま

加賀市では、Teach For Japan と連携協定を結び、様々なコラボレーションを展開しています。加賀市では、Be the Player をスローガンに掲げた「学校教育ビジョン」の実現に向けて、全小中学校で学びの改革を展開していますが、Teach For Japan から派遣された先生方は誰よりも先頭を切って新しいチャレンジに挑戦していただいています。様々なご経験のある方だからこそ、新たな風を吹かせる原動力としてご活躍いただけることを期待しています。さらに、文科省委託事業「教員研修の高度化事業」も連携パートナーとして教員研修の指標開発や子どもの資質能力測定にもチャレンジしています。教育委員会でやりきれないことを Teach For Japan と連携することで次々と実現しており、とても心強い存在です。

同僚



初任者の私にとって、「憧れの先生」といえる存在が岩崎先生です。目標とする先輩教師として、頼れる教務主任として、困った時の相談相手として…、岩崎先生と話をする度に、「教師の「守破離」とは何か？」を考えさせられます。昨年の4月、右も左もわからない私の目の前で、岩崎先生は、学級開きです所信表明の仕方を、実際に実践して見せてくれました。それは、私にとって、師の教えを守ることや、基本を習得することの大切さを身をもって学べた瞬間でした。「Well-being」、「エラーレスラーニング」、「シームレス」…岩崎先生のつぶやきは、常に学びがいっぱいです。これからも、多くのことを学ばせていただきたいです。

学校長



飯塚東小学校  
校長  
松尾 史朗さま

TFJ様より「プライド」をもって九州にお見えになった江崎和彦先生は、ご家族のご理解と応援に支えられ、子ども達の未来のため、学力や体力を伸ばしてくださいました。本当にありがとうございます。また、難関の福岡県教員採用試験にチャレンジし、合格され、日々勉強されていると聞き、リスペクトして止みません。人には「見栄や意地」で生きている方が多い中、和彦先生は「プライド」をもって教育に情熱と愛を注がれ生きていらっしゃる。見栄は、他人の視点からくる、自分を守るための自己愛。意地は、自分の視点からくる、自分を守るための自己愛。プライドは、自分に向けられた、他人の愛を守り貫くための他己愛…。これが彼の生き方です。

保護者



息子は小学二年生です。学校から帰ってくると、突然「ウユニ塩湖って知ってる？いつかボリビアに行ってみてみたい！」と言ってきた時は驚きました。またある日は得意気に「ダチョウの卵はニワトリの卵の何倍でしょう？」など、キラキラとした目ですごく楽しそうにその日の学校での話題を話してくれています。いつも鈴木先生と一緒に調べたんだと嬉しそうに語る息子。最近では家にいる時でも疑問に思ったことを自分で調べる姿も見られます。先生がいつも息子の何気ない疑問に寄り添ってくれているおかげで、息子の探究心が育っていると強く感じています。

Q.フェロシップ・プログラムに参加して感じたTFJコミュニティの良さを教えてください。

**塚田** 赴任前に様々な学習の機会があり、共に学んでいく仲間との繋がりを持てたことがまず良かったと思います。赴任後も困ったことがあったら対話して解決する環境が作っていたので、楽しく向上心を持って2年間務めることができました。

**阿竹** 僕も、TFJの仲間と、教育の本質ってこうだよとか教育の未来とかってこうなるといいよねみたいな話ができしたのは、自分の中ですごくモチベーションの維持になりました。

**清水** 私は環境の厳しい学校だったので、今まで出会ったことのない子どもたちだったん

ですけど、TFJにはそういう状況も客観視できる人たちが多くて、私も支えてもらいました。**辻** 経歴も赴任地も様々なので、相対的に赴任した学校を見れるのが、TFJの強さだなと思いますね。



学校現場の清水さん

Q.修了後のキャリアについて教えてください。

**塚田** 私は現在、角川ドワンゴ学園(N/S高)で働いています。赴任した筑豊エリアで家庭環境とか経済環境で自分の夢や人生を諦めてしまってる子どもたちを目の当たりにして、もっと学びたいことを学びたいだけ学びたい時に学びたい場所で学べる環境があったらいいのに、と考えるようになりました。N高のコンセプトでもある「多様な時代には、多様な学びを」というのがすごく私の中でしっくり来て、このキャリアを選びました。**辻** 僕は田川地域に赴任したんですが、元々持っていた教育課題とか社会課題がリアルに目の前にあって、カルチャーショックがものすごく大きくて、なんとかせないかんや

第9期生  
**阿竹 隼耶さん**  
参加前のキャリア：鉄道・バス  
現在のキャリア：大学院進学

第9期生  
**塚田 菜那さん**  
参加前のキャリア：人事コンサル  
現在のキャリア：教育系民間企業

第8期生  
**辻 智之さん**  
参加前のキャリア：Webマーケティング  
現在のキャリア：市議会議員

第9期生  
**清水 ひとはさん**  
参加前のキャリア：医療機器メーカー  
現在のキャリア：教員

ろって。ただ、学校の中だけでは手が届かない。もっと広く、親とか環境とか周りについているところに対して複合的な課題があると感じたときに、選挙出るか！と思いました。だから、プログラムに参加していなかったら、今の仕事は絶対していません。



選挙中の辻さん

**清水** 私は赴任時とは違う自分が生まれ育った場所で教員を継続しています。2年間を経て、地域性とか子どもや先生たちの感じが他の地域はどう違うんだろうっていう純粋な興味がありました。あとは、現状に対してこのままじゃいけないっていう感覚が強く、そこに対するアプローチができなかったのが3年目も教員を続けようと思った理由です。

**阿竹** 僕は京都大学の大学院に行っています。赴任中、自分の授業に対してなんとなく今日は良かった悪かったみたいな肌感覚はある一方、その効果をしっかり客観的に検証できないかなと思い始めたのがきっかけでした。あとは、学校のあらゆる意思決定を経験や勘だけに頼るのではなく、データを活用してより良いものになりたいということ

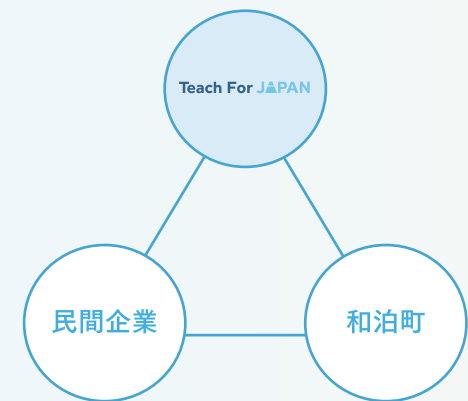
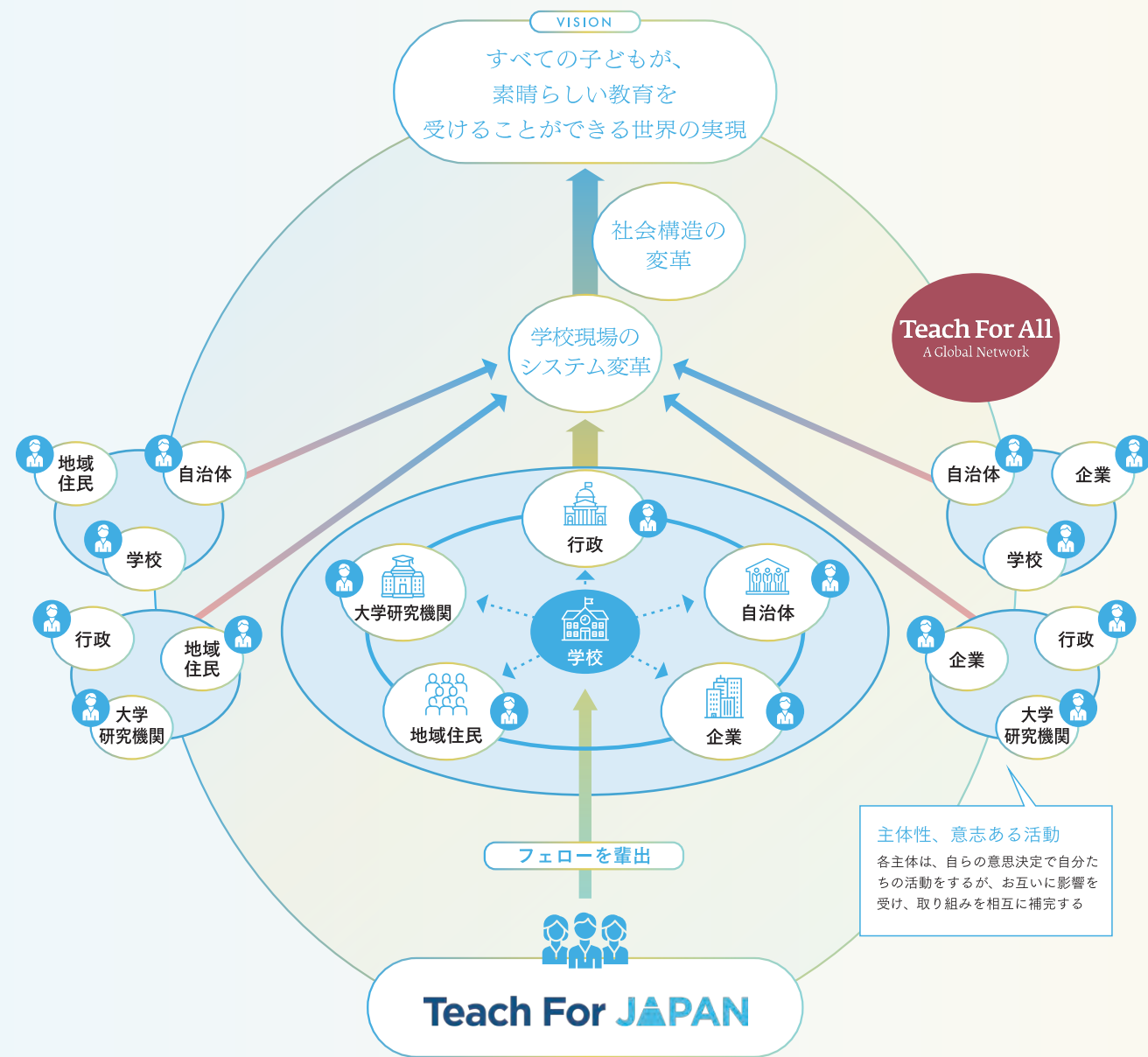
も感じていました。研究室では、教育における様々な効果検証に加えて、どのようにエビデンスを学校現場に生かせるかみたいなことも考えたりしています。

**塚田** みんなに共通してるのは、現場に入る前から仲間ができて、学校現場に入って価値観が変わって、「もっと地域や社会に貢献したい」という想いで赴任後のキャリアを選択したことですね。

**阿竹** やはりTFJで学校に行ったからこそその視点を大事にしていきたいと思っています。**辻** 皆さん、2年間の経験があって今があると捉えられていらっしゃるんですね。修了してから、その経験をいかに次の現場で還元できるか！それがアラムナイインパクトですよ！

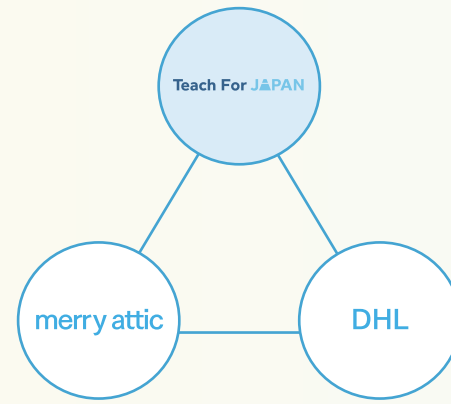


# コレクティブ・インパクトの実現



## 民間企業-地方自治体-NPOによる 新たな公教育体系を目指して

鹿児島県沖永良部島にある和泊町とTFJが協働し、企業版ふるさと納税を活用した教育支援プログラム及び調査を実施しました。和泊町が計画する「笑顔つながりまち・ひと・しごと創生」に対し、民間企業が企業版ふるさと納税で寄付を行い、TFJが教育の機会創出と地域の活性化を目的としたプログラムを実施しました。具体的には、夏休み期間に子どもたちの自由研究をサポートするプログラム、本格的な理科実験を行うプログラム、町内の子どもたちの理科や学習についての意識調査を行いました。今年度の活動をきっかけに、社会のリソースが公教育に循環する、新たな公教育体系の構築を目指します。



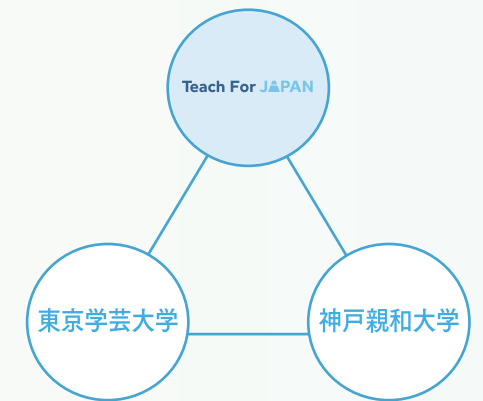
## 子どもたちの可能性を拡大する キャリア教育の機会

学童CLUB merry atticと連携し、子どもたちが将来のキャリアの選択肢を広げ、その準備を始める学習支援に取り組んでいます。2023年度にはTFJがDHLグループと協定を結び、この活動へDHLグループの社員様が参加し、物流について学ぶ講座や、ゲヴァントハウス管弦楽団を訪問する機会などを子どもたちに届けました。TFJは、企業が様々な機会子どもたちとの接点を持ち、企業全体として教育への関わりを高めていく機会を創出していきます。



## 教員養成の現代化・高度化を図り、 教職員集団の多様性向上に向けて

2021年度から東京学芸大学と協働し、多様なステークホルダーが連携したリカレントによる教員養成システムの構築に取り組んでいます。3年目となる2023年度は、新たに通信教育部で多大な教員養成の実績がある神戸親和大学も加わりました。通信教育部の強みを活かし、本事業の修了※をもって、本プログラムの一部が教員養成課程の単位として認定が可能になりました。各ステークホルダーの強みを活かし、学校の教職員組織を多様な知識・経験を持つ人材を取り入れた組織へ変革していきます。



※単位の認定には、神戸親和大学通信教育学部での単位修得の規定に則った形で修了が必要になります。

## 「教師の日ギャザリング2023」を開催

10月、TFJと株式会社ベネッセコーポレーションの共催による「教師の日ギャザリング2023」を開催しました。本イベントは、教師を含む教育に関心のある200名以上の方にお申込みいただき、当日は多くの方が集い、繋がり、学びエンパワーメントされる場となりました。



## Teach For All との協働

2023年度は、Teach For Allの開催するカンファレンスに3度参加しました。ケニアにて開催されたグローバルカンファレンスでは、加盟団体の活動が、子どもたちを未来のリーダーとして育てるにはどうしたらよいか、そして私たちはどうあるべきかを一緒に考え、ネットワーク全体の仲間たちとの関係を築くための機会となりました。



法人寄付



寄付以外の支援



ボランティア

コンサルティング、物流、金融など、教育業界とは異なるバックグラウンドを持つ法人ボランティアの皆様、フェロシップ・プログラムの運営をサポートいただいております。多様な人材が関わることで革新性がもたらされることは勿論、参加者からも、「会社では得られない気付きが沢山あり、改めて社会課題に当事者意識を持つ機会となった」「教師の授業デザインは、まさに会社でのプレゼンやファシリテーションにも繋がる要素が多々あり、さっそく明日からの業務に活かしていきたい」等、貴重なフィードバックをいただいております。



コンテンツ提供

Ed Tech、コーチング、ソフトウェア、法律事務所など、多様な法人様のコンテンツ（サービス）を無償提供いただく形で団体運営をサポートいただいております。限られた経営資源ではありますが、ご支援によってDXやIT化、生産性向上を実現することができております。また、団体だけでなく、フェロや候補生にも活用機会を提供いただくことで、その先にいる子どもたちにも新たな学びや質の高い教育環境を届けることが可能になり、現場からも感謝の声を多く受けております。



会場提供

大学・大学院、私塾、法人など、フェロシップ・プログラムの研修場所として、また、イベントや説明会の開催場所として、会場を提供いただいております。今後は、さらにフェロシップ・プログラムの参加者数も大幅な増加を見込んでおり、「教師の日」等の一般向け企画も進めていく予定です。東京・大阪・福岡のいずれかで、会議室やホール、研修施設の貸し出しをしていただける団体様を、より一層広く募集しております。

寄付インフォメーション

MONTHLY  
毎月の寄付

月々 1000円から  
継続的に  
ご支援いただける方

ONETIME  
今回の寄付

1回 1000円から  
その都度  
ご支援いただける方

CORPORATE  
法人サポーター

法人としての寄付や  
協働・連携を  
ご検討の方

遺贈



遺言により財産を特定の団体に寄付できる方法です。遺贈手続きに関わる専門家として三菱UFJ信託銀行様と提携しており、ご紹介することができます。尚、ご寄付は税制優遇の対象となります。

ふるさと納税



渋谷区のふるさと納税における寄付先団体になっております。2024年のふるさと納税の受付について、詳細が決まりましたらHPやメールマガジン等で改めてご連絡いたします。

東京マラソン



東京マラソン2024チャリティの寄付先団体になっております。例年、次年度のランナーの募集開始は、5~6月頃になります。ご関心のある方は、Teach For Japanの団体HPよりお気軽にお問い合わせください。

ハチドリ電力



世界13カ国で社会問題に取り組む株式会社ポードレス・ジャパンが地球温暖化を解決するために始めた電力サービス「ハチドリ電力」と連携しています。ご自宅や会社で利用される電気代の一部が寄付につながります。

バリューブックス



本で寄付をする「チャリボン」を運営するバリューブックスと連携しています。古本をご寄贈いただくことで、その買い取り額がTeach For Japanへの寄付につながります。ご家庭で不要になった本をお送りください。

ソフトバンク



ソフトバンク「つながる募金」は、毎月継続的に寄付ができる募金プラットフォームです。ソフトバンクのiPhoneやスマートフォンをご利用の方は、毎月の携帯電話の利用料と一緒に募金することができます。

詳しくはWEBサイトをご覧ください。

Teach For Japan 寄付

検索

<https://teachforjapan.org/donation/>



SNS

- @TeachForJapan
- @TeachForJapan
- @teach\_for\_japan



# Thank you for your support!



いつも温かなご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
Teach For Japanは、これからもビジョン実現に向けて全力で活動してまいりますので、引き続き応援のほどお願いいたします！

## 団体概要

名称	認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人） Teach For Japan（ティーチフォージャパン）	役員	代表理事：中原 健聡 理事：松田 悠介（Teach For Japan ファウンダー） 理事：川島 健資（元ドイツ証券（株）取締役副会長） 理事：桜井 一正（（株）ポストコンサルティンググループ マネージング・ディレクター & パートナー） 理事：田中 満公子（大阪教育大学連合教職実践研究科特任教授） 監事：齋藤 宏一（アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 パートナー、弁護士）
会員数	正会員数：12名（2023年12月31日時点）		
職員	常勤職員：11名（2023年12月31日時点）		



### 各職員の活動や思いをお聞きください！

ホームページでは、各職員のインタビューを掲載しています。活動の裏にある私たち一人ひとりの思いを、ぜひご覧いただければと思います。



## 2023 年度財務諸表

### 活動計算書

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
<b>【A】経常収益</b>		
1.受取寄附金		65,460,089
受取寄附金	65,460,089	
2.受取助成金等		27,796,588
受取民間助成金	17,895,844	
受取補助金	9,900,744	
3.事業収益		11,602,704
事業収益	11,602,704	
4.その他の収益		31,535
受取利息	966	
雑収入	30,569	
<b>経常収益 計</b>		<b>104,890,916</b>
<b>【B】経常費用</b>		
1.事業費		
(1) 人件費		51,578,127
給料手当	45,280,480	
法定福利費	6,297,647	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		46,664,712
荷造運賃	80,469	
広告宣伝費	28,703,110	
会議費	0	
会場費	1,991,021	
旅費交通費	2,912,310	
通信費	2,073,090	
消耗品費	456,599	
事務用品費	128,921	
水道光熱費	32,749	
新聞図書費	584,386	
印刷・製本費	143,872	
諸会費	131,862	
支払手数料	1,649,439	
支払リース料	985,215	
地代家賃	939,186	
支払保険料	16,614	
租税公課	0	
支払報酬料	3,361,587	
減価償却費	2,398,000	
支払利息	30,412	
雑費	45,870	
<b>事業費 計</b>		<b>98,242,839</b>
<b>【B】経常費用 計</b>		<b>107,809,053</b>
<b>経常費用 計</b>		<b>107,809,053</b>
<b>当期経常増減額【A】－【B】…①</b>		<b>△2,918,137</b>
<b>【C】経常外収益</b>		
経常外収益 計		0
<b>【D】経常外費用</b>		
固定資産除却損	2	
経常外費用 計		2
<b>当期経常外増減額【C】－【D】…②</b>		<b>-2</b>
<b>税引前当期正味財産増減額①+②…③</b>		<b>△2,918,139</b>
法人税、住民税及び事業税…④		95,000
前期繰越正味財産額…⑤		97,120,068
<b>次期繰越正味財産額③－④+⑤</b>		<b>94,106,929</b>

### その他情報

上記以降の情報については右記のURLよりWEB上で確認いただけます。





財産目録

(単位：円)

科目	金額	小計・合計
<b>【A】資産の部</b>		
1.流動資産		77,014,544
現金預金		62,166,121
普通預金 新生銀行/本店	49,742,349	
普通預金 みずほ銀行/渋谷中央支店	7,722,962	
普通預金 三井住友銀行/丸の内支店	527,129	
普通預金 三菱UFJ銀行/新橋支店	4,077,315	
普通預金 ゆうちょ銀行	96,366	
未収金		9,501,146
受託事業	9,501,146	
未収入金		9,756
経費過払分等	9,756	
前払費用		5,337,521
その他諸経費	5,337,521	
<b>流動資産 計…①</b>		<b>77,014,544</b>
2.固定資産		
(1) 無形固定資産		9,592,000
ソフトウェア		
CRMシステム	9,592,000	
(2) 投資その他の資産		20,080,000
World Learn & Play Summit事業特定資産	20,000,000	
敷金		
タイムズ24	80,000	
<b>固定資産 計…②</b>		<b>29,672,000</b>
<b>【A】資産合計 ①+②</b>		<b>106,686,544</b>

<b>【B1】負債の部</b>		
1.流動負債		
未払金		3,736,713
経費未払金 従業員立替	114,378	
経費未払金 その他諸経費	3,622,335	
預り金		415,190
源泉所得税	209,655	
住民税	130,900	
雇用保険料	74,635	
前受金		5,412
長期借入金 利子補給分	5,412	
未払法人税等		95,000
令和5年12月期確定申告分	95,000	
未払消費税等		527,300
令和5年12月期確定申告分	527,300	
<b>流動負債 計…③</b>		<b>4,779,615</b>
2.固定負債		
長期借入金		7,800,000
新型コロナウイルス感染症特別貸付	7,800,000	
<b>固定負債 計…③</b>		<b>7,800,000</b>
<b>【B1】負債合計③</b>		<b>12,579,615</b>
<b>【B2】正味財産 計 (【A】 - 【B1】)</b>		<b>94,106,929</b>

貸借対照表

(単位：円)

科目	金額	小計・合計
<b>【A】資産の部</b>		
1.流動資産		77,014,544
現金預金	62,166,121	
未収金	9,501,146	
未収入金	9,756	
前払費用	5,337,521	
<b>流動資産 計…①</b>		<b>77,014,544</b>
2.固定資産		29,672,000
(1) 無形固定資産		9,592,000
ソフトウェア	9,592,000	
(2) 投資その他の資産		20,080,000
World Learn & Play Summit事業特定資産	20,000,000	
敷金	80,000	
<b>固定資産 計…②</b>		<b>29,672,000</b>
<b>【A】資産合計 ①+②</b>		<b>106,686,544</b>
<b>【B1】負債の部</b>		
1.流動負債		4,779,615
未払金	3,736,713	
預り金	415,190	
前受金	5,412	
未払法人税等	95,000	
未払消費税等	527,300	
<b>流動負債 計…③</b>		<b>4,779,615</b>
2.固定負債		7,800,000
長期借入金	7,800,000	
<b>固定負債 計…③</b>		<b>7,800,000</b>
<b>負債合計 ③</b>		<b>12,579,615</b>
<b>【B2】正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産額		97,120,068
当期正味財産増減額		△3,013,139
<b>正味財産合計</b>		<b>94,106,929</b>
<b>【B】負債及び正味財産合計 【B1】 + 【B2】</b>		<b>106,686,544</b>